

シナリオセット①「さよならバレンタイン」

◇説明

書きかえて、ホワイトデーやクリスマスやハロウィンなどでも使えるシナリオセット。
PCが「終末」の日まで魅力と脅しでチョコやプレゼントを手に入れまくるシナリオです。
制限日数は7日。1日に2度ランダムイベント表を振ることができます。(計14回)
PCは学生。キャラクター同士は初期の段階では敵対しています。キャラクターへの感情は「絶望」のみ所持しています。ソロシナリオの場合、クラスメイトと敵対している設定となります。
複数人で遊ぶ際、オススメの終末スキルは「これが青春」です。
《特技[]》で戦闘が出来そうなスキル、もしくは《威圧の眼光》または《魅力バクハツ》などは、一部の判定にプラスをすることができます。
ランダムイベント表の、★のついているものは、イベントに参加するか参加しないかを選べます。また、他のプレイヤーを助けるロールをすれば、判定に+1点をしてもらえません。特別な記述でない限り、そのイベント参加者全員が判定をし、成功した者は記述してある個数のチョコをそれぞれが貰えます。
さいごのねがいは「誰よりもチョコを手に入れる」です。ソロシナリオの場合、10個以上を手に入れたらクラスの誰よりもチョコを手に入れたことになります。

◇あらすじ

突如訪れることが分かった「終末」の日。それはなんとバレンタインの日だった！
なにも貰えず死んでしまうなんて現実を、我々学生は許していいのか？ いや、いいはずがない！
こうしてPCたちのチョコレート争奪戦争が始まった。

◇世界観

「終末」がバレンタインの日なので、生徒たちはバレンタインをフライングしています。ですから、バレンタイン前にチョコをいくつも持ち歩いていて不思議ではないのです。また、時空がゆがむ系の「終末」なので、突如時空が歪み、チョコを失うというイベントがたまにあります。

ランダムイベント表

1	★チョコをたくさんもらった不良を呼び出してバトル。判定に成功したらチョコを4つ手に入れる。失敗したら2つ失い、【劣等感】で感情判定をしなければならない。
2	★チョコを賭けた決闘が始まる。参加するPLはダイスを振り、最も出目の高かったPCが、参加したプレイヤーから1つずつチョコを奪うことができる。(判定にスキルを使うこともできる) ソロシナリオの場合、判定が成功したらチョコを1つ手に入れる。
3	判定に成功した場合、気のいいクラスメイトからチョコを2つ手に入れる。
4	★チョコを賭けた魅力対決が始まる。参加するPLはダイスを振り、最も出目の高かったPLが、参加したプレイヤーから1つずつチョコを奪うことができる。(判定にスキルを使うこともできる) ソロシナリオの場合、判定が成功したらチョコを1つ手に入れる。
5	突如時空が歪み、巻き込まれそうになる。逃げなければ！ 判定に成功したら無事に回避することができるが、失敗すると回避の際チョコを2つ失い、【恐怖】で感情判定をする。
6	★チョコを持った学生グループを発見。自分の魅力をアピールしよう。判定に成功したらチョコを4つ手に入れる。 失敗したら【後悔】もしくは【呆然】で感情判定をしなければならない。

ファンブル表

1	ランダムで他キャラクターへの「絶望」の感情を所持・すでに所持している場合その絶望がランダムに変更される
2	他キャラクターへの「希望」の感情がランダムに変更される・所持していない場合なにも起こらない
3	任意の1つの「記憶スキル」で指定した記憶を失う。(まだ使用していない場合、スキルの効果は得られる)
4	時空の歪みに巻き込まれかける。ファンブルをしたPCはチョコを3つ失う。
5	ファンブルをしたPCはチョコを2つ無くす。その場にいる人がそのチョコを得ることができる。いない場合は誰も取得できない。
6	ファンブルをしたPCはなぜかその瞬間だけチョコを渡す側になる。その場に1人に自分のチョコを2つ渡し、ランダムで「希望」の感情を抱く。すでに抱いている場合は、「恋慕」になる。

◇7日目終了処理

あなたたちは満天の星の下、最終的なチョコの数を公開し、誰が勝者かを定める。そして、そのチョコを1つずつ食べていく。この時、誰か1人に「希望」の感情を任意に取得してよい。

◇終末

時空の歪みが瞬間に世界のあちこちに現れ、すべてを包み込んでいった。